

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 令和 8 年 4 月 8 日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
公立西知多総合病院	
企画名	
第 7 回緩和ケア市民公開講座	
事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など)	
知多市・東海市の広報にご案内を掲載、院内掲示板にポスターを掲載 各外来にチラシを配布、地域への研修時にチラシでお知らせ	
当日の実施内容について	
日時(期間)	令和 8 年 3 月 7 日(土) 14:00 から 15:30
実施場所	公立西知多総合病院 2 階講堂
参加人数	23 名
具体的な実施内容:	
① 緩和ケアって何? ② 痛みが出たらどうしよう ~お薬を使うコツ~ ③ 痛みを和らげるために ~緩和的放射線治療とは~ ④ 痛みを我慢しないために ~緩和ケアとペインクリニックの連携~	
効果について(アンケートの結果など)	
講座の内容に関しては、1 名以外が『非常にわかりやすかった・わかりやすかった』と解答。 【アンケート自由回答】 ・今日は参加させていただきありがとうございました。抗癌剤の治療が始まると同時に緩和治療も始められるのを知らなかったのが知れてよかったです。 ・痛みを緩和するための治療について多くの知識を得ることができました。不安が少しなくなりました。1 人で悩まず相談したいと思います。 ・緩和ケア=終末期と思っていたのでそうではないということがよくわかりました。 ・第 7 回ということですが今までこういう講座があることは全く知りませんでした。広く広報していただければまた参加したいと思います。参加無料で予約いらないうことで参加しやすかったです。 ・西知多総合病院の緩和ケアチームの取り組みの話を伺い、患者にとってはとても安心できる存在だと思いました。とてもわかりやすかったし、講師の方々の人柄もとても温かかったと感じました。 ・医療者であるため理解しやすかった。痛みをフォーカスした話で興味もてた。ハンドアウトがありよかったです。薬剤師のスライドは背景と文字が重なっていたのでハンドアウトは背景のないものがよいと思った全体的に資料ハンドアウトが利用しやすいと思った。	

- ・今日の講座に関してはないですが、緩和ケア病棟の見学がなどが以前あったと思うのですが受講できなかったのもう一度そのような講座をしていただければと思っております。
- ・この病院の癌治療の実際、設備等も知りたいです。
- ・体系的にわかりやすい資料で保存版になる。私はがん患者ではないが、がんの息子を支えている父親。治療、処置は本人が決めることであるが支える家族として知識としてありがたい。このプレゼン資料はA4用紙に4分割の表示であるが、年齢的に活字が小さくみえないため資料を渡す際には細かな字が見えるようにしてほしい。
- ・色々な分野の専門的なことを学べる機会が市民公開講座として無料で参加できることはとてもありがたいことだと思います。今後も別の講座に参加したいと思います。
- ・現在頸椎損傷後の手術を受け、約3ヶ月の入院、リハビリ（現在も週1回の訪問リハビリ）を受けなんとか杖を頼りに歩行している。しかしこれからまた怪我などをし、命に関わるような痛みが起きたら緩和してもらいたくこの講座を受けました。
- ・思っていた講座とは少し違っていました。よい勉強となりました。ありがとうございました。
- ・貴重な講座に参加させていただき、ありがとうございました。特に、神経ブロックや放射線治療で新しい発見があり、とても興味深い時間でした。渡邊先生を中心に緩和ケアチームとしてのつながりも感じられ地域の患者さん、ご家族にも緩和ケアが届いていくシステムがあり安心できます。在宅チームとも連携を強めていけるとよりよいケアが届くと思います。ありがとうございました。実際の患者さんへの治療やケアの事例がしれたらよりわかりやすいと思います。
- ・地域に西知多の信頼できる緩和ケア病棟がありこのような会を開催して頂きとてもありがたいです。勉強になりました。これからもよろしく願います。当日の院内に入ってからのご案内があるともう少しあるといいかなと思いました。
- ・これからも続けてください。

その他報告

- ・冊子は、市民公開講座当日の資料として配布
- ・残りの冊子は、患者サロンルームがん相談センターに設置

公式ホームページ（緩和ケア.net）への掲載について

- 掲載してもよい
 掲載しないで欲しい

※掲載を希望される場合、個人情報の取扱いにご注意ください

- ポスター、チラシなどを作成した場合、添付してください
- 当日の様子(当日配布資料、会場、イベント実施時の写真など)を添付してください
 ※個人が特定できるお写真などの情報の掲載はお控えください。

